

第 1 回 八代港被災施設復旧技術検討委員会

議事概要

1. 日 時：令和 8 年 8 月 12 日（水）15 時 30 分～17 時 00 分

2. 場 所：ホテル大黒屋（熊本県八代市麦島西町 7-15）

Web 併用

3. 議事概要

八代港外港地区の現地調査後に、令和 8 年熊本地震による八代港の被災概要、施設の被害調査結果、岸壁の利用可否判定検討及び委員会の進め方（案）等について説明し、構成員による意見交換を行った。

（主な意見）

- ・ 本格復旧に向けて、必要となる調査の内容・方法を整理し、鋼矢板や鋼管杭等の変形状況や残留応力を把握し、既設部材の継続使用の可否や必要な補修方法について検討する必要がある。
- ・ 原形復旧とするか、再度災害防止や耐震化とするか等、技術的判断だけでなく、港湾利用者・関係者と調整し整理する必要がある。
- ・ 復旧にあたり岸壁法線をどのように揃えるかという点が重要である。
- ・ 液状化や空洞化については、発生メカニズムを踏まえ、吸出し対策や液状化被害の抑制方法について検討する必要がある。
- ・ ガントリークレーン等の荷役機械について、岸壁の復旧との施工手順や他施設との復旧優先順位も含め、復旧方法を検討する必要がある。